

性の強い2,3,7,8-TCDDの毒性を1として、各異性体の毒性を毒性等価係数（TEF）により換算した量。各異性体ごとに濃度とTEFの積を求め、これを総和したものをダイオキシン類濃度のTEQ換算値という。

定量限界

一定体積の試料中で、ある定量方法によって定量可能な最小濃度

テトラクロロエチレン

ドライクリーニング、金属洗浄、工業用溶剤などに使われる有機塩素系化合物。水質汚濁防止法の有害物質に指定されており、肝臓や腎臓に対して影響がある。

環境基準（大気） 1年平均値が0.2mg/m³以下

環境基準（水質） 0.01mg/l以下

環境基準（土壌） 検液1lにつき0.01mg以下

排水基準 0.1mg/l以下

水道水の水質基準 0.01mg/l以下

道路交通情勢調査

道路交通の現況を把握し、将来の道路整備計画の立案資料とするため、国土交通省を始め、地方公共団体、道路公団など関係機関が実施している全国規模の交通量及び道路現況調査で、昭和3年に道路改良会が「全国交通調査」として始めて以来、概ね5年ごとに実施されてきた。

昭和55年度調査より、「道路交通センサス」という名称になり、5年ごとに調査を行い、中間年として3年目に一般交通量調査を実施することとなった。

調査の内容としては、道路の状況と断面交通量など現況実態を把握する「一般交通量調査」と自動車の運行状況・目的等を調査する「自動車起終点調査（OD調査）」に大別される。

特定工場

水質汚濁防止法等の個別法に定められた特定施設等を設置している工場。

または、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に定められた製造業（物品加工業を含む。）、電気供給業、ガス供給業又は熱供給業に属し、かつ、ばい煙発生施設・汚水等排出施設（特定地下浸透水を浸透させるものを含む。）が設置されている工場のうち政令で定めるもの、騒音発生装置が設置されている工場のうち指定地域内にあるもの、特定粉じん発生施設・一般粉じん発生施設が発生されている工場、振動発生施設が設置されている工場のうち指定地域内にあるもの

特定施設

騒音規制法及び振動規制法では「工場又は事業所に設置される施設のうち、著しい騒音（振動）を発生する施設」を、水質汚濁防止法では「人の健康及び生活環境に被害を生ずるおそれのある物質を含む汚水や廃液を排出する施設」を特定施設と定めている。大気汚染防止法では特定施設に相当するものとして、特定物質を発生する施設をばい煙発生施設と粉じん発生施設という。

都市計画

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画のこと。

都市計画区域

都市計画法その他の関係法令の適用を受けるべき土地の区域。

具体的には、市町村の中心の市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要がある区域を指定する。

土壌汚染

人の事業活動その他の活動に伴い、土壌中に有害物質が残留、蓄積し、その結果、直接人の健康を損ない又は人の健康を損なうおそれがある農畜産物が生産され、若しくは農作物等の生育が阻害されることを土壌の汚染という。

土壌汚染の原因となる物質は、カドミウム等の重金属やテトラクロロエチレン等の有機塩素系化合物などであり、25項目について環境基準が定められている。

(な)～(の)

二酸化炭素（CO₂）

炭素化合物の燃焼により生成する無色無臭の気体で、一酸化炭素よりは毒性が小さい。赤外線を吸収する温室効果のガスの一つであり、排出量の削減、固定化技術の開発等が検討されている。

日射量

日射量とは太陽から発する光により与えられる単位時間及び単位面積当たりの熱量であり、

ly/min、ly/hrなどで示される。lyはラングレイと読み、 $ly = \text{cal}/\text{cm}^2$ である。

日照

太陽が雲などに遮られずに照った状態をいう。日照時間や日照率などによって示される。

日照時間

太陽が直接地面を照らした時間をいい、1日間、10日間あるいは1月間などの時間数で表す。末は長く、冬は短い。日射量や昼間の雲量の目安にもなる。

日照率

実際の日照時間と、日出から日没までの可照時間との比。一般に百分率で表す。

熱帯林の減少

過度の焼畑移動耕作、薪炭材の過剰採取、農地への転用、過放牧、商業林の不適切な伐採等により、毎年熱帯林が15万km²（日本の約4割の面積）減少していると推測されている。熱帯林の減少に伴い、開発途上国の産業・生活基盤や野生生物の生息地が損なわれるほか、気候変化や土壌流出等の影響も生じている。

Nm³

Nはノルマルと読む。気体は温度や圧力により体積が変化するため、0℃、1気圧に換算した状態をNで表現する。そのときの気体の体積。

1ng/Nm³は標準状態の空気1m³中に1ngの物質が存在していることを表している。

(は) ~ (ほ)

灰溶融施設

一般ごみの焼却灰などを高温で熱した後、冷却し、ガラス状に固化させる施設。高温で熱することから、焼却灰に含まれる水銀や鉛などの重金属が封じ込められてより安全になる上、ダイオキシンなどの有害物質は分解・除去される。

発生・集中交通量

発生・集中交通量とは、ある地域の発生交通量と集中交通量の和をいう。

「トリップ」とは、人又は車両が、ある目的を持って、ある地点からある地点へ移動することを示す単位である。「トリップエンド」とは、一つのトリップにおける両端を表し、「トリップエンド数」は、ある地域におけるそれらの数を集計したものである。

「発生・集中交通量」は、この「トリップエンド数」と一致する。

パラメータ

parameter。媒介変数。二つ以上の変数間の関数関係を直接に表示する代わりに、補助の変数を用いて、間接的に表示するとき、その補助の変数をいう。または、コンピュータのプログラム中で呼び出される関数に与えられる因数

pg

ピコグラムと読む。重さの単位で1兆分の1グラム。

環境ホルモン関連単位表（1グラムとの比較）

ミリグラム (mg)	=1000分の1g	
マイクログラム (μ g)	=100万分の1g	=ppm
ナノグラム (ng)	=10億分の1g	=ppb
ピコグラム (pg)	=1兆分の1g	=ppt

※ それぞれ上位の単位とは1000倍の差がある。

※ 1pg/g（1ピコグラムパーグラム）は1グラム中に0.000000000001グラムの物質が含まれていることを表す。

※ 1 μ g/m³（1マイクログラムパーリッポウメートル）は1リッポウメートル中に0.000001グラムの物質が含まれていることを表す。

ppm (100万分の1、part(s) per million)

大気汚染物質等の濃度を表すときに使用される単位であり、汚染物質が1m³の大気中に1cm³含まれているとき1ppm（容積）という。

ppbはpart(s) per billionの略、10億分の1、ppmの1000分の1。

フロンガス

炭化水素の水素原子のいくつかが、塩素原子や弗素原子で置き変わったものの総称である。熱に強く冷媒、溶剤としてすぐれた性能をもっており、クーラーや冷蔵庫等の他、半導体産業での